

戦争遺跡保存全国ネットワーク

〒380-0928 長野市若里 3-5-5 きぼうの家

TEL:026-228-8415 Fax: 026-262-1831 e-mail: kibonoie@nifty.com

あれから一年、熊本は？

【戦争遺跡保存全国ネットワーク 会員各位】

2度にわたる震度7の猛烈な平成28年熊本地震から丸一年目がたち、今日、隈庄飛行場の油倉庫をあらためて訪れました。隣接した舞原仮設住宅をはじめ、県外も含め仮住まい47,725人の方々が避難生活を送っておられます。復興の光と影も顕在化してきたなかでのあつという間の1年でしたが、これからも復興を全力で進めていきたいと思ひます

さて、夏の長野松代大会でご支援をいただきました「陸軍隈庄飛行場油倉庫・弾薬庫の震災遺産の認定・市指定文化財への指定」、9月熊本市・10月熊本県・11月熊本市への文書提出や面談を、3月末に熊本市文化振興課との意見交換も行いました。

市文化財保護委員会・市事務局の戦争遺跡への認識は浅く、震災遺産としての議論も不十分ですが、油倉庫の公費解体も迫り、ギリギリまで粘りつよく進めていくしかなさそうです。

今年1月現地に説明看板設置、2月には地元への啓発として「三船敏郎、隈庄飛行場の軌跡Ⅱ」を開催し、三船さんの戦時演劇写真や戦後の映画ポスター等も展示し、しばし被災された方々への「心の癒やし」となりました。また各種助成金や全国からの義援金を基に、被災リーフレット「平成28年熊本地震による陸軍隈庄飛行場油倉庫・弾薬庫の被災状況」、啓発リーフレット「碧空に祈る 隈庄飛行場」も発刊しました。地域啓発を丁寧に進めながら、隈庄飛行場の価値性を高め、市指定文化財を目指して進めていきます。

平成28年11月10日熊本市幹部への文書手渡し。



平成29年1月、油倉庫隣接地に設置された説明板
 背景は油倉庫

詳しくは震災一年をむかえ新たに開設した「くまもと戦跡ネットHP」「平成28年熊本地震での復旧・復興活動：被災状況報告・PDF」の高谷拙文を参照ください。URLは、

「<http://www.kumamoto-senseki.net/>」です。

まずは、全国の皆様方への支援のお礼と熊本の被災した戦争遺跡の現況報告といたします。

平成29年4月16日

くまもと戦争遺跡・文化遺産ネットワーク

代表 高谷 和生

隈庄飛行場啓発及び被災状況リーフレットの2種

